

# 遊気舎第12万回公演

AI HALL 提携公演

ご存知「羽曳野の伊藤」に強力サイバル出現!!  
吟遊詩人の国アイルランドで、  
ケルト神話の謎がいま解き明かされる!



大切なものは  
しまっておいて下さい。

## CAST

首藤 健祐  
(劇団POTATO倶楽部)  
宮川 朋子  
(ミスフラワーQueen日本代表)  
メリケン小次郎(酔族謡)  
淵野 尚  
(フリー)  
一木 美貴子  
(劇団五期会)

とめき	ち
西田政彦	
久保田浩	
鷹田ゆき	
後藤ひろ	ひと
魔	瑠
楠見	薫
工藤ま	き
うらら	らん
うべ	げ
田口	れ
諸国	巡

## STAFF

照明	池田哲朗
音響	Alain Nouveau
舞台監督	宮井大
美術	池田ともゆき
宣伝美術	柳井愛一
演出助手	グロリアウオン
衣装	IKUKO-KUDO
装置	おとうさん
制作	金沢保枝 荻野達也

- お問い合わせ：昼 06-453-7600(松本工房)・夜 06-713-5038(金沢)
- チケット取り扱い：チケットぴあ 06-363-9999
- 開場は開演30分前、開演1時間前から整理券発行いたします。

# THE 雨殿 夜更し 二人 咖啡

作/演出 後藤ひろひと

92年 10月 23日 (金) 19:30  
24日 (土) 15:00 19:30  
25日 (日) 13:00 17:00

AI HALL  
06-713-5038

一般前売 2000円・一般当日 2300円  
中高生前売 1800円・中高生当日 2000円

いつも気にはなっていたんですが、チラシが怖いので敬遠していましたが、皆さんにオマシロイをやらせようと思って早く行けばよかった。後悔しています。前回アンケートより

# 怪盗ダブリン4号

If I Should Fall From Grace With God

作/演出 後藤ひろひと

## 後藤さんのこと

桂 べかこ



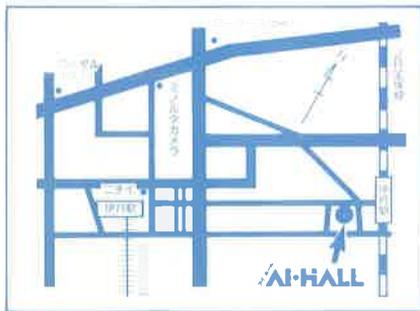
後藤さんと初めて会った時、私より年上だと思いました。「遊気舎の、後藤です。」

と、あいさつされた時、そこには、長年苦勞してきた役者の悲哀が見えました。また、物腰や態度に、妙な説得力を感じました。その時から、「後藤さん」と呼ぶようになり、尊敬とあこがれをもっていました。ところが、ある時、私よりひと回り以上も年下だと知り、愕然としました。「なんじゃ、そんな若造だったのか。」

それ以後、尊敬は侮蔑に、あこがれはさげすみに変わり、「生意気な後藤め！」と言う思いの日々でした。呼び方も、「後藤さん」から、「オイッ後藤」に変えたいのですが、彼は、瓢々とベンガル語ともモンゴル語ともつかない言葉で、私に話しかけてきます。そして、あの目に見えられると、つい「後藤さん」と言ってしまうのです。

しかし、今は、素直に「後藤さん」と呼べます。彼の芝居を見た時から、この人は私よりも、永く人間をやってきた人なのだ、と感じたからです。人間は、生まれかわり、死にかわりして今に至っているのですが、現世に生まれかわる時、前世の記憶がいっさい無くなるのだそうです。ところが、たまに、それを持ちつづけている人があるようです。そうです。彼、後藤さんは、今までの過去世の記憶を、すべてもっている人物なのです。そうであれば、あんな芝居は作れません。さあ、あなたも、今日から、「後藤さん」と呼んで下さい。そして、今からはじまる、時空を超えた、「後藤さん」の世界をたっぷり見物しましょう。きっとあなたに、成功と幸福を呼び込むことでしょう。

客席にすわっている私の心境は、まさに、「後藤を待ちながら」です。



AIHALL (伊丹市立演劇ホール)  
〒664 伊丹市伊丹2-14-11  
TEL 0727-822000  
京JR伊丹駅前  
京阪急伊丹駅前から東へ徒歩7分



M-G CLUB  
CINEMA FORCE

- 準出演 須古信平
- DONJURO 奥田健一郎
- はなのなにな 安代倫子
- 小川十紀子 野畑利恵
- ミケラン 中平美穂
- まついきよし 直井美智子
- 制作補 八馬房子
- スクリプター ナカッヒ
- 協力
- 劇団POTATO倶楽部
- 劇団五期会
- 劇団酔族館

## 遊気舎の人々

関 秀人  
(立身出世劇場)

僕と遊気舎との出会いは以外に遅くて、去年オレンジルームで観た『モリコーネ』が最初だった。かれこれ10年とちよっと、関西演劇界に身を置く僕にとって、骨太の役者集団であった上方小劇場の流れをくむ劇団という印象が強く、その上、満遊気さんの指導のもと、エンゲキをしている集団だと、少し、うがった見方をしていたのも事実だった。そんな僕に、遊気舎の音効担当であり、僕達のよき理解者でもある野澤さん(Aian, Nouveau)からぜひ遊気舎を観るようにとのお言葉。そして観た『モリコーネ』以後、『徴生物vsマイケル・ケイン』、『ラテンキング92』と、すっかり遊気舎にとり込まれてしまった僕なのだ。

遊気舎の一番の魅力とは何か?…僕にとってそれは、舞台上での役者の開放感だと思う。役者が舞台上で開放されているというのは、言うは易しであるけれど、とてもムツカシイもので、それをいともたやすく、しかもせせら笑いながらやってのける遊気舎の人々に、僕は同じ

役者のはしくれとして、怖れに似た感情を抱いてしまったのだ。遊気舎の人々…。『後藤ひろひと』世が世であれば、とんでもない名前の奴。無類のクイズ野郎で、以前したたかに飲んだ後に、その洗礼を受けてえらい目に合った。いつか仕返ししてやる。『羽曳野の伊藤』こと『久保田浩』素晴らしい。僕はファンだ。後藤との『ホルマリオン兄弟』も最高のユニットだ。『西田政彦』好青年だ。舞台上でもっともおもしろくなってくれ。他、『とめきち』もいい味を出す役者だ。『椎名燦平』、『諸国巡』、『ミケラン』も飛び道具としてGOOD! 女優陣、『魔猫』、『ラテンキング』でのヘソ出しルックに目をそむける程、感動した。いける!彼女となら行ける!『うへん』痛い。実際に痛い、けどファンだ。『桶見薫』天才だ。もっと磨け。もっと光る。『藤田ゆき』ポツチャリしてて好きだ。髪型が変な時があったな。『工藤まき』こういう家庭教師風の女性には弱い。『さらさら』かわいい名前だ。『田口れげ』パワフルでガンバレ。『小川十紀子』実は好きだ。(がんばってね) : あーあ、遊気舎の人々。そして遊気舎の人々。されど遊気舎の人々に幸多かれと祈る。

